

# ひとひと 女と男 パートナーシップ

問い合わせ先 企画課男女共同参画推進係 ☎ 72-2111 内線 222



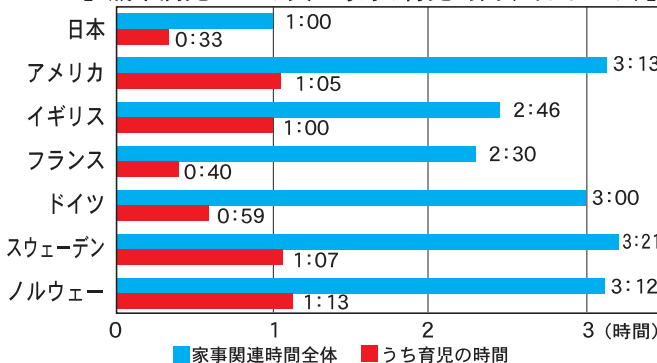
## 男女共同参画と子育て



我が国の男性の家事・育児に費やす時間は、世界的にみても低い水準です。（内閣府「男女共同参画社会の実現をめざして 平成23年版」より。グラフ参照。）

### 男性の家事・育児に費やす時間の国際比較

【6歳未満児のいる夫の家事、育児時間（1日あたり）】



男性の子育て参画の推進は、①男性自身も子育てや家庭生活を楽しむ時間を持つことができる②子育てを経験することで視野が広がるとともに、周囲の協力を得たり、時間を上手に使ったりと段取り力の向上も期待できる③家事や育児の楽しみや大変さを共有する

ことで、夫婦間の信頼が高まる④家族のふれあいが増えることは、子どもの健やかな育ちによい影響を与える、といった効果が期待できます。

日本でも、男性の仕事と家事・育児の両立を推進する必要があります。

### 仕事と家事・育児の両立

ここで、実際に家事・育児の両立を実践されている佐々木常夫さん（株式会社東経経営研究所特別顧問）のお話をご紹介します。

「私には3人の子ともがいますが、1番上の子が自閉症という障がいを持って生まれました。また、妻が肝臓病を患い、うつ病になってしまったのです。」

私は朝5時半に起きて食事の支度をし、お弁当を作る、夕方6時には会社を出て、7時に家に着いて子ども達のご飯の支度をする、土曜は病院に妻の見舞いに行き、日曜日は1週間分の掃除と洗濯と買い物という生活をずっと続けてきました。

このような中、個人的に家族を守るために、なるべく早く帰って家のことをやらなければならなくなり、徹底的に仕事を効率的に進める、6時に会社

を出ていても結果を残すというふうには仕事への取り組み方を変えました。私はタイムマネジメントというのは時間の管理ではなく、仕事の管理であると思っています。長時間労働をしている部下には、「自分の人生をもう少し大切にしないさい。仕事のタイムマネジメントの前に、人生のタイムマネジメントを考えなさい」と言うようにしています。」

（参考 日本女性会議2010きょうと MEMORIAL BOOK）

### 男女共同参画セミナー

#### 会場が笑顔でいっぱいになりました!!

演題 あなたに元気をとどけます。「自分らしい」ってこんなに楽しい！  
講師 福岡県男女共同参画センター「あすばる」前館長 中嶋玲子さん

6月18日（土）午後、「あすばる」2階視聴覚室は、中嶋さんの力強い声と参加者103名の笑い声でいっぱいになりました。講演の内容について、キーワードをご紹介します。

◆自分たちの住む社会や地域をより良いものにしていくという情熱とポジティブな提言・行動そして努力と汗を惜しまない。

◆地域に活かそう あなたの力 私の力  
◆世代を超えて性別にとらわれずに、その人らしさを認める。

◆「老若男女」が大切にされ、認め合う心豊かな地域をつくる。  
「老」…経験豊富な人たち  
「若」…活力ある人たち

◆「男」…今までがんばった人たち  
「女」…力があっても機会に恵まれなかった人たち

◆男性、女性の「全員参画」で持続可能な地域をどうつくっていくか。  
◆人として地域社会の一員として、と



参加された方からは、「感動しました。ぜひまた聴きたい。」「知識だけでなく活力を得ることができました。」「最大の資源の私たちががんばります。」「などの感想をいただき、多くの方が《さらに元気になつて》会場を後にされました。